

経営改善部門

新潟県弥彦村 農事組合法人サンファーム大戸

(代表：中川 ^{なかがわ} ^{たくみ} 巧 氏)



- 経営規模：70.7ha（水稻 54.4ha、枝豆 8.7ha、大豆 7.5ha、イチゴ 0.1ha）

（注）数字は令和4年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 平成5年に水稻 20ha で前身となる「大戸水稻生産組合」を立ち上げ、平成12年に枝豆を導入、平成15年にイチゴの高設栽培を開始するなど、地域に先駆けて稲作と園芸の複合経営に取り組み、平成19年3月に園芸複合型法人として設立した。
- ・ 平成29年には、村内の他の2法人と連携して JGAP 認証を取得し、更なる発展に向けて、村がブランド化した「伊彌彦米（いやひこまい）」のうち独自要件（JGAP 認証）を満たしたものを「プレミアム伊彌彦米」として商品化した。また、一定の生産量が確保できるようになった段階で3法人合同して販売会社を設立することで、米の有利販売体制を構築した。
- ・ また、3法人で機械共同利用組合を設立し、枝豆コンバインを導入するとともにオペレーターを法人間に出し合う形で共同作業を実施しており、こうした取組を県内初となる労務の法人間連携協定として令和5年3月に締結した。